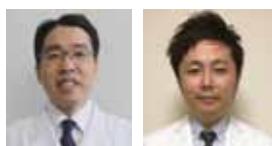


消化器癌先端治療開発学寄附講座



1. スタッフ

特任教授 よしだ なおや
吉田 直矢

特任准教授 いしもと たかづぐ
石本 祐胤

2. 診療科の特徴、診療内容

本講座は2017年10月1日に、消化器癌に対する高度な集学的治療の実践、および難治性消化器癌に対する新規治療法開発のため開設された。

(1) 手術と化学・分子標的療法、放射線療法を組み合わせた最適な集学的治療体系の確立

進行消化器癌に対して、手術、全身化学療法、分子標的薬療法、免疫療法、放射線療法などを組み合わせ、集学的治療により予後の向上に努めている。手術においては、安全性と根治性を考慮しつつ、他臓器合併切除を含む高難度手術を実践している。また進行度に応じて機能温存手術も行っている。安全性と根治性を両立した腹腔鏡・胸腔鏡手術の発展に加え、胃癌、食道癌、大腸癌に対するロボット支援手術を進めている。

臨床研究ではデータベースを元に、合併症の減少、予後の改善につながる因子の解明を進めているほか、前向き観察研究を通じて、臨床に有用な薬剤、検査に関する研究を行っている。

(2) 難治消化器癌に対する新規治療法開発に向けた基盤研究

現行の治療戦略では制御不能である腹膜播種を伴うスキルス胃癌や脾臓癌に対する新しい治療法開発を目指し、国内外の研究室や企業と連携し研究を推進している。

(3) 腹膜播種を促進する腹腔内微小環境の全貌解明

腹膜播種に伴う癌性腹水中に存在する様々な細胞分画について、シングルセルレベルでの解析を行い、各細胞分画間での相互作用について検証を進めている。

(4) 集学的治療に係る治験・臨床試験の遂行

食道癌、胃癌、大腸癌におけるさまざまな治験、臨床試験を遂行し、エビデンスの確立に貢献している。とくに、近年目覚ましく発展している抗PD-1抗体療法をはじめとした免疫療法に関する治験を推進している。

(5) ガイドラインに沿った標準治療の啓蒙・普及

熊本がん診療専門医育成プログラムによる研修の推進や、セミナー・講演を行っている。

3. 診療体制

熊本大学消化器外科とともに診療活動を行っている。主として吉田は臨床部門を、石本は研究部門を担当している。

4. 診療実績

令和4年度は熊本大学消化器外科とともに約900件

の消化器癌手術を行った。食道癌、肝臓癌、脾臓癌手術数は、全国でもトップレベルである。

5. 高度先進的な医療の取組

低侵襲手術、ロボット支援手術の推進、さまざまな治験、臨床試験を通じた新しいエビデンスの構築を行っている。

6. 臨床試験・治験の取組

食道癌、胃癌、大腸癌、原発性・転移性肝癌、胆道癌、脾癌などを対象として、治験や臨床試験に積極的に参加している。またJCOG、JFMC、KSCCなど、全国規模の臨床試験に多数参加している。

7. 地域医療への貢献

消化器癌に対する集学的治療の確立のための専門医育成、横断的な組織作り、診療科を越えたcollaboration、関連病院との施設連携等を、消化器外科学教室と協力して行っている。

8. 医療人教育の取組

熊本大学消化器外科と協力して、学部学生・研修医・大学院生の臨床・研究に関する教育活動を行っている。また、海外からの留学生を広く受け入れ、国際的に活躍できる人材の育成に努めている。診療面では、臨床腫瘍医・消化器内科医・放射線科医など、診療科を越えた密接な協力体制の構築、当該診療領域の専門医の育成、地域の高度な医療管理や均一な医療を提供する体制の確立に努めている。特定行為研修の座長を務めており、特定行為の推進と看護師のスキルアップに貢献している。

9. 研究活動

研究活動としては、令和4年度に英文筆頭7編、英文共著59編を出版した。主な論文は、臨床研究では、1) 食道扁平上皮癌と重複癌に関する包括的研究(Ann Surg)、2) RDW値と食道癌術後の予後に関する研究(Ann Surg Oncol)、3) 術前の禁煙と食道癌術後の予後に関するcross-sectional study(Ann Surg Oncol)、4) 大網被覆と食道胃管吻合関連合併症の関連に関するPSM解析(Am Coll J Surg)が挙げられる。1-3のはこれまでに報告がなく、新規性の高い臨床研究である。基礎研究では、1) 線維化腫瘍に対する免疫チャックポイント阻害剤治療(Cancer Res)、2) 胃がん進展における間質細胞の相互作用(Gastric Cancer)、が挙げられる。現在、1) スキルス胃がん腫瘍微小環境をテーマにした国際共同研究、2) NASH-HCCの病態解明、3) 腫瘍間質をターゲットにした新規治療法開発、4) 腹膜播種を促進する腹腔内微小環境、5) 脾癌進展を引き起す代謝制御因子の同定について研究を進めている。